

※公募の詳細については、公募機関(AMED)のwebサイトで必ず確認してください。(H28.11.01現在)				
【H29年度日本医療研究開発機構(AMED)研究費】				
【公募締め切り・事業紹介リンク先】				
【「革新的がん医療実用化研究事業」に係る公募(1次公募)】		研究推進課学術調整係への提出期限 平成28年11月24日(木) (AMEDの期限は平成28年12月1日(木)正午【厳守】) ○提出方法:e-Rad(機関承認要)		
http://www.amed.go.jp/koubo/010320161007.html		※希望者には、先端科学・イノベーション推進機構(O-FSI)による提案書アドバイスを行いますので、O-FSI(fsojimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)へ相談ください。		
【公募課題概要】				
	研究費(年間) (間接経費を含む)	研究期間	採択件数	公募する研究内容、求められる成果等
革新的がん医療実用化研究事業				
領域1 がんの本態解明に関する研究				
1)公募課題名:がんの最適医療(Precision Medicine)の実現に資するゲノム異常及びバイオマーカーの同定と臨床的有用性の検証(領域1-1)	20,000~30,000千円	原則3年度	0~6課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>本研究においては、高リスク群の捕捉や治療率向上に資する技術的革新が喫緊の課題であるがん種について、バイオバンクに集積された臨床検体やPDX等のモデル系を用い、次世代シーケンサー等の最新のオミックス解析技術を活用し、がんの最適医療実現のための症例層別化や治療薬開発等に資するゲノム異常及びその他のバイオマーカーを同定し、バイオバンクに集積された大規模な臨床検体を用いてその臨床的有用性の検証を行う研究を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>バイオバンクに集積された臨床検体やPDX等のモデル系を用い、次世代シーケンサーを使用したゲノム異常の探索等、最新のオミックス解析により、新たな治療標的候補分子や、最適な治療法の選択のためのバイオマーカー候補を同定し、大規模な臨床検体※を用いてその臨床的有用性の検証を行うことが求められます。</p> <p>がんの最適医療(Precision Medicine)の実現に資する成果が期待できる研究であることが求められます。</p> <p>採択に当たっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
2)公募課題名:がんネットワークの臨床的意義の理解に基づく医療シーズの開発研究(領域1-2)	20,000~30,000千円	原則3年度	0~6課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>本研究においては、オミックス解析技術等の最新の解析技術を活用して、がんの治療抵抗性・免疫応答性などの臨床的特性について明らかにすることにより、がん微小環境内ネットワーク及びがん細胞と全身的な生命システムとのネットワークの分子基盤の理解に基づいた新たな治療標的の同定やがんの原因究明・予防介入に資する研究を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>特定のがん種について、オミックスデータ等を集積し、がん組織内の各種細胞の相互作用、及び免疫や炎症など全身的なシステムとがん細胞との相互作用を明らかにし、がんネットワークの分子基盤を解明することにより、治療抵抗性や免疫応答性等の臨床的特性の本態解明を進めることが求められます。さらにその結果に基づいて、新たな診断・治療の標的分子の同定とシーズの探索に進み、臨床導入を考慮した動物モデルでのシーズの有用性に関する非臨床POCの取得、及び、大規模な臨床検体や疾患コホート検体を用いたヒトでの検証を行うことが求められます。</p> <p>採択に当たっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>

3) 公募課題名:ゲノムと環境要因との相互作用の理解に基づくがん個別化予防法の開発に関する研究(領域1-3)	20,000~30,000千円	原則3年度	0~3課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>特定の環境要因※とゲノムとの直接的・間接的相互作用についての最新の知見・理解に基づいて、特定のリスク群を対象としたがん個別化予防法を提示し、動物モデル等を利用して、その非臨床POCの取得を目指す研究を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>ゲノムと特定の環境要因との相互作用の理解に基づき提案されたがん個別化予防法のアイデアに対して、当該相互作用についての理解を深化させることにより、提案される予防法の具体化、ブラッシュアップを図り、3年目の研究期間終了時点で動物モデル等での非臨床POCを取得し、終了後のステップとしてコホート研究等のヒトでの実証研究(領域2)へ進むことが期待されます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
4) 公募課題名:大規模な国際共同研究に資するがんゲノミクス研究等のがんオミクス研究(領域1-4)	50,000~100,000千円	原則3年度	0~2 課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>国内の複数の研究機関からなる研究体制を組織して、国際共同研究に参加して、がんの網羅的ゲノム解析等の大規模オミクス解析を行う研究を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>既存又は平成28年度内に発足予定の国際共同研究プロジェクト(国際コンソーシアム)の日本代表として、がん研究の分野での国際貢献に資する研究成果を上げられる研究体制が求められます。個々のがんについての全ゲノム解析等、包括的な解析を戦略的・集約的に実施し、得られた成果は他国の成果と統合後、国際データベースとして公開するなど広く世界的に利用されることが求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
(2) 領域2 がんの予防法や早期発見手法に関する研究				
1) 公募課題名:遺伝情報や感染・他の疾患の有無、喫煙・食生活・運動などの生活習慣、職住環境などによる個人の発がんリスクの同定と評価をめざした疫学研究(領域2-1)	10,000~40,000千円	原則3年度	0~3課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>遺伝素因をはじめとする固定リスクや生活習慣、感染、環境要因をはじめとする変動リスク等を指標としたリスク層別化・個別化に関するこれまでの基礎研究の成果を踏まえた個人の発がんリスク評価を正確に行う方法の確立に資する研究課題を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>遺伝情報と感染・生活習慣・環境との交互作用を考慮した個人の発がんリスク評価に資する科学的根拠を提供することを求めます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意ください。</p>
2) 公募課題名:個人の発がんリスクや特性に応じたリスク低減手法開発を目指した臨床疫学研究(領域2-2)	10,000~40,000千円	原則3年度	0~3課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>個人の発がんリスクや特性に応じて最適化されたリスク低減手法の開発に向け、基礎研究で得られた成果を観察研究や介入研究によって評価する事を目的とした研究課題を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>遺伝素因や環境要因に基づいた個人の発がんリスクや特性に応じて層別化された集団に対する効果的なリスク低減手法の開発に関する科学的根拠の提供を求めます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意ください。</p>
3) 公募課題名:検診への導入をめざした診断技術の開発に関する臨床疫学研究(領域2-3)	10,000~40,000千円	原則3年度	0~3課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>精度の高い早期発見手法で、現状の標準的な検診の感度を上回る早期発見手法の開発へ向け、そのエビデンスを構築するための観察研究や介入研究を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>わが国のがん対策における検診施策として展開しうる可能性があり、大規模疫学研究にて検証する価値のある新たな手法を開発することを求めます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意ください。</p>

4) 公募課題名: がんの予防法や新たな検診手法の実用化をめざした大規模疫学研究(領域2-4)	40,000~ 100,000千円	原則3年度	0~7課題程 度	<p>【公募内容】 これまでの小規模な観察研究や介入研究で抽出・実証されたエビデンスに基づく予防介入や検診手法について、その有効性を検証するための大規模疫学研究を実施する研究課題を募集します。</p> <p>【求められる成果】 有効性の指標は、死亡率減少効果を原則としますが、研究期間に応じて終了時に評価可能な短期指標の設定を求めます。さらに、我が国のがん対策の政策決定に資する科学的根拠を提供することを求めます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意ください。</p>
(3) 領域3 アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究				
1) 公募課題名: 革新的がん診断・治療薬の実用化に向けた非臨床試験(領域3-1)	50,000~ 100,000千円	最長3年度	0~5課題程 度	<p>【公募内容】 日本のアカデミア発の研究成果(知的財産を含む)を基にした革新的な医薬品の創出へ向け、難治性がんや希少がん、小児がんのための分子標的薬や核酸医薬等のがん治療薬の開発又はがん免疫療法等の新たな治療法の開発(コンパニオン診断薬を含めて)を目的とした非臨床試験に係る研究開発課題を募集します。</p> <p>【求められる成果】 医師主導治験への移行もしくは企業治験への導出を目的とした非臨床POCを取得できていることを主たる成果とします。また、非臨床試験(GLP準拠の安全性薬理試験、毒性試験、薬物動態試験等)、製剤又は製品の確保(治験薬のGMP製造等)、治験プロトコルの作成、治験相談等を研究開始から3年以内に実施し、原則として研究期間終了までに医師主導治験へ進める状況となっていることを副次的な成果として求めます。具体的には、研究期間終了時に、本事業での研究成果を証明するものとして、非臨床POC取得に係る書類、非臨床安全性評価に係る非臨床試験総括報告書、試験物の規格決定に係る書類、試験物の製造体制整備に係る製造工程記録一式、治験開始に係る治験薬概要書、医師主導治験実施計画書の提出が求められます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
2) 公募課題名: 日本発の革新的がん診断・治療薬の実用化に関する臨床研究(領域3-2)	50,000~ 100,000千円	最長3年度	0~10課題程 度	<p>【公募内容】 本研究においては、難治性がん・悪性度の高い希少がん、小児がん等を対象に、分子標的薬や核酸医薬等のがん治療薬の開発及びがん免疫療法等の新たな治療法の開発(コンパニオン診断薬を含めて)を目的とした臨床研究を募集します。</p> <p>【求められる成果】 薬事承認を目指した医師主導治験、もしくは、先進医療を見据えた医師主導臨床試験等の実施が求められます。本事業での研究成果を証明するものとして、研究期間終了時に医師主導治験総括報告書、GMP製造した製剤の確保・提供を証明・保証する書類、及び製造工程記録一式、治験薬概要書最終版等の提出が求められます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
3) 公募課題名: 革新的がん診断・治療薬の適応拡大をめざした臨床研究(領域3-3)	50,000~ 100,000千円	最長3年度	0~3課題程 度	<p>【公募内容】 本研究においては、既に国内外において特定のがんに対して実用化されているがん治療薬又はがん以外の疾患の治療薬に関して、他のがんに対する適応拡大による実用化に向けた臨床研究に係る研究開発課題を募集します。</p> <p>【求められる成果】 薬事承認を目指した医師主導治験、もしくは、先進医療を見据えた医師主導臨床試験の実施が求められます。本事業での研究成果を証明するものとして、研究期間終了時に医師主導治験総括報告書、治験薬概要書最終版等の提出が求められます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>

(4) 領域4 患者に優しい新規医療技術開発に関する研究				
1) 公募課題名: 転移・再発例等に対する革新的バイオマーカーを用いた診断技術の確立と実用化に関する研究(領域4-1)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~3課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>転移・再発例等に対して層別化・個別化した治療を行うためのがんの質的診断を可能とする革新的なバイオマーカーの研究開発とそれを用いた診断技術の実用化を目指す課題を採択します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>これまで得られた研究成果を実用化する事を重視し、研究開始初年度に薬事戦略相談等を行い、研究期間内に臨床POCを取得することが求められます。研究期間の終了時には、臨床研究の総括報告書の提出が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
2) 公募課題名: 画像技術とバイオマーカーの組み合わせによる分子イメージングの開発研究(領域4-2)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~3課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>画像技術とバイオマーカーの組み合わせによる分子イメージングの開発研究に対して、新規診断技術による早期のがん診断法を確立する課題を採択します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>これまで得られた研究成果を実用化する事を重視し、研究開始初年度に薬事戦略相談等を行い、研究期間内に臨床POCを取得することが求められます。研究期間の終了時には、臨床研究の総括報告書の提出が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
3) 公募課題名: 最先端技術の応用による手術療法や放射線療法の低侵襲化をめざした新規医療技術の開発研究(領域4-3)	10,000~50,000千円	最長3年	0~6課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>国内の優れた先端技術の応用による低侵襲化した手術療法、放射線療法の確立に資する新規医療技術の開発研究の課題を採択します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>これまで得られた研究成果を実用化する事を重視し、研究開始初年度に薬事戦略相談等を行い、研究期間内に臨床POCを取得することが求められます。研究期間の終了時には、臨床研究の総括報告書の提出が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
3) 公募課題名: 最先端技術の応用による手術療法や放射線療法の低侵襲化をめざした新規医療技術の開発研究(領域4-3)	10,000~50,000千円	最長3年度	0~6課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>国内の優れた先端技術の応用による低侵襲化した手術療法、放射線療法の確立に資する新規医療技術の開発研究の課題を採択します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>これまで得られた研究成果を実用化する事を重視し、研究開始初年度に薬事戦略相談等を行い、研究期間内に臨床POCを取得することが求められます。研究期間の終了時には、臨床研究の総括報告書の提出が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
(5) 領域5 新たな標準治療を創るための研究				
1) 公募課題名: 局所進行がん及び進行・再発がんに対する予後の改善を目指した治療法確立のための臨床試験(領域5-1)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~15課題程度	<p>【公募内容】</p> <p>標準治療に対し試験治療の生存における優越性を検証するデザインの新規共同臨床試験計画を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>新しい集学的治療法の確立とガイドラインへの反映へ向けた試験の実施が求められます。研究期間の終了時に症例登録を完遂していること、あるいはフォローアップの終了が求められますが、必須条件ではありません。実現可能な症例登録数等、研究の目標到達点を設定し、最終年度までの達成が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>

2) 公募課題名: 根治が見込めるがんに対する低侵襲治療法の確立を目指した臨床試験(領域5-2)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~15課題程度	<p>【公募内容】 根治が見込めるがんに対し、低侵襲性と患者QOL保持を目指す治療法開発のための多施設共同臨床試験を募集します。標準治療に対し、試験治療の根治性における非劣性を検証する試験デザインが求められます。また、標準治療に対して試験治療の侵襲性や治療後のQOLが適切に評価される必要があります。</p> <p>【求められる成果】 新しい集学的治療法の確立とガイドラインへの反映へ向けた試験の実施が求められます。研究期間の終了時に症例登録を完遂していること、あるいはフォローアップの終了が求められますが、必須条件ではありません。実現可能な症例登録数等、研究の目標到達点を設定し、最終年度までの達成が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
3) 公募課題名: 科学的根拠に基づくがんの支持療法/緩和療法の開発に関する研究(領域5-3)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~5課題程度	<p>【公募内容】 がんの薬物療法に伴って生じる末梢神経障害や外見の変化(爪・皮膚障害、脱毛)等の副作用、体重減少やリンパ浮腫等の手術後の合併症・後遺症に伴って生じる患者の苦痛を緩和・軽減する支持療法/緩和療法等を開発する臨床試験を行い、診療ガイドラインの策定を目指す研究を募集します。</p> <p>開発した治療法の普及による改善効果を将来測定できるようにするため、関連学会等と協力し、臨床試験を行ってください。また、これまで臨床試験が実施されていない領域を扱う場合は、対象とする症状に関する国内の実態把握を行った上で、パイロット試験の実施を経て臨床試験に着手してください。</p> <p>【求められる成果】 3年目の終了時までには、臨床試験の患者登録を完了し、診療ガイドラインの策定に着手していることが求められます。それにあたり、例えば初年度は、必要に応じて国内での実態把握のための調査を実施し、臨床試験のパイロット試験に着手すること、2年目の終了時までには、臨床試験のプロトコールが倫理審査委員会承認されていることなど、妥当性の高い計画を例示することが求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
(6) 領域6 ライフステージやがんの特性に着目した重点研究				
1) 公募課題名: 小児がん、AYA世代のがんの標準的治療法の開発に関する臨床研究(領域6-1)	10,000~30,000千円	最長3年度	0~10課題程度	<p>【公募内容】 本公募では、小児がん、AYA世代のがんを対象として、特徴的な生物学的性質を踏まえた、より有効性の高い標準治療や安全性が高くQOLを維持することのできる標準治療を開発するための臨床試験及び小児がん、AYA世代がんにおける遺伝性腫瘍もしくはそのリスクのある患者に対する治療や観察法の開発を目的とした臨床試験を募集します。</p> <p>【求められる成果】 小児がんやAYA世代のがんに対する標準治療の確立とガイドラインへの反映に向けた多施設共同臨床試験の実施が求められます。原則、研究期間の終了時に、臨床試験を完遂していることが求められますが、必須条件ではありません。実現可能な症例登録数等、研究の目標到達点を設定し、当該目標の最終年度までの達成が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
2) 公募課題名: 希少がんの標準的治療法の開発に関する臨床研究(領域6-2)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~10課題程度	<p>【公募内容】 本公募は希少がん(小児がん、AYA世代がんを除く)を対象として、特徴的な生物学的性質を踏まえた、より有効性の高い標準治療や安全性が高くQOLを維持することができる標準治療を開発するための臨床試験を募集します。</p> <p>【求められる成果】 希少がんに対する標準治療の確立とガイドラインへの反映に向けた多施設共同臨床試験の実施が求められます。原則、研究期間の終了時に、臨床試験を完遂していることが求められますが、必須条件ではありません。実現可能な症例登録数等、研究の目標到達点を設定し、当該目標の最終年度までの達成が求められます。</p> <p>採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画</p>

				を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。
3)公募課題名:高齢者のがんに関する臨床研究(領域6-3)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~6課題程度	<p>【公募内容】 高齢者のがんを対象として、併存疾患や脆弱性を考慮した安全で有効性の高い治癒を目指した治療法の開発や、安全性が高くQOLの維持、延命を目的とした治療法を確立するために、治療方針決定に必要な患者の適切なスクリーニング、診断法、上記目的に応じた治療法についての臨床試験を募集します。</p> <p>【求められる成果】 研究終了までに、臨床試験で得られた新たな科学的根拠に基づくガイドラインの作成に着手していることが求められます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
4)公募課題名:難治性がんの標準的治療方法の開発に関する臨床研究(領域6-4)	10,000~20,000千円	最長3年度	0~10課題程度	<p>【公募内容】 本公募は難治性がんを対象として、特徴的な生物学的性質を踏まえた、より有効性の高い標準治療や安全性が高くQOLを維持することができる標準治療を開発するための臨床試験を募集します。</p> <p>【求められる成果】 研究終了までに、臨床試験で得られた新たな科学的根拠に基づくガイドラインの作成に着手していることが求められます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>